

# 平成30年度国語科 《第3学年》年間指導計画

杉並区立杉森中学校

担当（合田淳郎）

## 国語科 教科の目標

国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる。

文字を正しく整えて速く書くことができるようにするとともに、書写の能力を学習や生活に役立てる態度を育てる。

## 国語科 第3学年の目標

- （１）目的や場面に応じ、社会生活にかかわることなどについて相手や場に応じて話す能力、表現の工夫を評価して聞く能力、課題の解決に向けて話し合う能力を身に付けさせるとともに、話したり聞いたりして考えを深めようとする態度を育てる。
- （２）目的や意図に応じ、社会生活にかかわることなどについて、論理の展開を工夫して書く能力を身に付けさせるとともに、文章を書いて自分の意見や考えを深めようとする態度を育てる。
- （３）目的や意図に応じ、自分なりの意見をもって、文章の展開や表現の仕方などを評価しながら読む能力を身に付けさせるとともに、読書を通して自己を向上させようとする態度を育てる。
- （４）身の回りの多様な文字に関心をもち、効果的な文字を書く態度を育てる。

関は、国語への関心・意欲・態度、 話 は、話す・聞く能力、 書 は、書く能力、 読 は、読む能力、 言 は国語についての知識・理解・技能

★は言語活動例

□ 年間指導時数 学習指導要領の配当時間：105 時間

話すこと・聞くこと 15時間 書くこと 20 時間 読むこと・伝統的な言語文化と国語の特質 60時間 書写 10 時間

月	単元名	指導目標	指導内容	評価規準	評価方法	小学校との関連
4	高瀬舟 春に 3時間	文脈の中における語句の効果的な使い方など表現上の工夫に注意して読む。（読(1)ア）（伝国(1)イ(イ)） 文章を読んで筆者の自然や人間、言葉などに対する思いを捉え、自分の意見をもつ。（読(1)エ）	文脈の中における語句の効果的な使い方など表現上の工夫に注意して読ませる。 文章を読んで筆者の自然や人間などに対する思いを捉え、自分の意見をもたせる。	関 表現の仕方などに注意しながら読み、人間、自然、言葉などについて自分の考えをもとうとしている。 読 「朝焼け」と「八歳の少女」が表現していることがらや表現上の工夫から筆者の思いを捉え、それに対する自分の意見をまとめている。	授業観察 ノート ワーク 定期考査	生きる（6年）

5	月の起源を探る 4時間	文脈の中における語句や図の使い方などに注意して読み、筆者の論理の展開の仕方を捉えて評価する。(読(1)ア・イ・ウ)(伝国(1)イ(イ)) 科学的なものの見方や研究方法を知り、それらについて自分の考えをもつ。(読(1)エ)	筆者の論理の展開に注意して、種々の仮説を読み取らせる。 小見出しや図の役割、効果などについて理解させる。	言 関 読 言 関 読 言	感覚描写などを表す言葉や比喩表現に気付き、その使われ方に注意して読んでいる。  すすんで文章を読み、論理の展開や内容を理解しようとしている。 図と本文との対応を確かめながら筆者の論理展開を読み取り、そこに表れる筆者の科学的なものの見方や研究方法について自分の考えをもっている。 論理展開を読み取るうえで重要な漢語を指摘し、意味を調べている。	授業観察 ノート ワーク 定期考査	生き物はつながりの中に (5年)
	握手 食読 5時間	作品に用いられた言葉やエピソードから、表現の工夫、場面や登場人物の設定の仕方などを捉え、作品を理解する。(読(1)ア・イ・ウ)(伝国(1)イ(ア)) 作品に描かれた登場人物の生き方や考え方から、人間や社会に対する自分の意見を持ち、作品を評価・批評する。(読(1)エ)	登場人物の生き方や考え方を基に、人間や社会、自分の生き方について考えさせる。 登場人物のエピソードや言葉に着目して読み、作品を理解させ、小説を批評させる。(読(2)ア) 批評の意義について考えさせ、批評文を書くために、者の主張について自分の意見をもたせる。 知識を広げたり深めたりさせる。	関 読 言	作品を読み、作品の表現、登場人物等について、自分なりの考えを深めようとしている。 作品の表現や展開の仕方、内容について、自分なりに観点を決めて批評している。 作品に使われている言葉や表現に着目して読んでいる。	授業観察 ノート ワーク 定期考査	わらぐつの中の神様 (5年) カレーライス (6年) やまなし (6年)
	学びて時にこれを習ふー「論語」から	漢文の言い回しに注意して、文脈における語句の意味を捉えて読み、人間・社会・自然などについて	漢文の言い回しに注意して文脈における語句の意味を捉えて読み、人間・社会・自然などについて考え自分の	関 読	「論語」を読んで、内容に親しんでいる。 脚注を参考に語句の意味を捉えて、漢文の言い回	授業観察 ノート ワーク 作文	論語 (5年)

6	2時間	考え自分の意見をもつ。 (読(1)ア・エ) 「論語」の古典における位置付けを知り、「論語」に親しむ。(伝国(1)ア(ア))	意見をもたせる。 「論語」の古典における位置付けを知り、「論語」に親しませる。	言	しに注意して読み、孔子の考え方をだいたい理解している。 筆者の人生観を読み取り、自分の生き方について考えている。 「論語」の古典における位置づけを理解し、内容に親しんでいる。	定期考査	
	評価しながら聞く 1時間	自分の考えと比較し評価しながら相手の考えを聞き、自分のものの見方や考え方、表現のしかたに役立てる。(話聞(1)ウ)	議題を決めて話し合い評価しながら聞く練習をさせる。	関 話 言	相手の考えを自分の考えと比べながら聞き取り、自分の表現に役立てようとしている メモを取り、自分と相手の考えを比較し評価しながら整理している。 言葉の意味や使われ方に注意して聞いている。	授業観察 ワークシート	よい聞き手になろう (3年)
	相手や目的に応じたスピーチをする 4時間	情報を集め整理して、話す内容を決める。(話聞(1)ア) 話す相手や目的を意識して、資料を活用したり、話し方を工夫したりする。(話聞(1)イ・ウ)	情報を整理して、話す内容を決めさせる。 話す相手や目的を意識して、資料を活用したり話し方を工夫したりさせる。	関 話 言	話題に沿って相手にわかりやすく話をしようとしている。 情報を取捨選択してスピーチの話題を決めている。 場面や目的、相手に合った話し方をしている。 声の調子や敬語の使い方に注意して話している。	授業観察 発表	「平和」について考える (6年)
	熟語の読み方 1時間	熟語に関する知識を広げ、文や文章の中で読みだり使ったりする。(伝国(1)イ(イ))(伝国(1)ウ(ア))	教材文を読み、様々な熟語の読み方について理解させる。 練習問題に取り組みさせる。	関 言	熟語の読み方を理解しようとしている。 熟語の成り立ちや、音読み・訓読みを確かめながら読んでいます。また、示された熟語以外の例を挙	授業観察 ノート ワーク 定期考査	漢字の音と訓 (3年)

	身の回りの文字を調べよう 2時間	身の回りには、場面や目的に応じて様々な文字が使い分けられていることを理解することができる	写真の中から文字を探し、身の回りには様々な文字があることを知る。身の回りの文字を集め、それらがどのような場面や目的で使われているかを考える。	関 言	げ、理解を深めている。 意欲的に写真の中の様々な文字を探そうとしている。身の回りには様々な文字があることを理解している。	授業観察 ワークシート	
	「想いのリレー」に加わろう 「情報発信」について考えよう 2時間	語句の使い方に気をつけながら現代のメディアの特徴を読み取り、情報発信の意義と注意点について考えを深める。(読(1)ア・エ・オ)	現代メディアの特徴を知り、情報発信の意義と注意点を考えさせる。	関 読 言	文章を読んで、社会や人間について自分の考えをもとうとしている。現代メディアの特徴や情報発信の意義と注意点を読み取り、自分の日常生活と結びつけて考えようとしている。外来語の使われ方に注意して読んでいる。	授業観察 ノート ワーク 定期考査	ゆるやかにつながるインターネット (5年)
	和語・漢語・外来語 1時間	和語・漢語・外来語の使い分けに注意し、語感を磨き語彙を豊かにしている。(伝国(1)イ(1))	和語・漢語・外来語・混種語の性質や特徴について理解させる。	関 言	和語・漢語・外来語の使い分けを理解しようとしている。和語・漢語・外来語のそれぞれを理解し、相手や場面に応じて適切に使い分けしている。	授業観察 ノート ワーク 定期考査	和語・漢語・外来語 (6年)
	俳句の可能性 俳句を味わう 3時間	筆者のものの見方や感じ方、表現の仕方などを読み味わい、俳句の世界に親しむ。(読(1)ア・ウ)(伝国(1)イ(1)) 感動の中心が効果的に伝わるように、語句や語順に注意して俳句を作る。(書(1)ア)	筆者のものの見方や感じ方、表現の仕方などを読み味わい、俳句の世界に親しませる。 語句の使い方や表現の仕方を工夫して俳句を作らせる。 好きな俳句を選び分かりやすく理由を述べる。	関 読 書	俳句の形式に興味をもち、表現上の特徴を生かして俳句を作ろうとしている。 俳句の約束事を理解し、俳句に込められた作者の思いや情景を読み味わっている。 語順や表現の仕方に注意	授業観察 ノート ワーク 作品 定期考査	声に出して楽しもう (3. 4年) 俳句を作ろう (6年)



	読書案内 本の世界を広げよう 読書コラム ためになるって どんなこと? 1 時間	定、表現の仕方などから文章を評価し、自分の考えを広げたり深めたりする。(読(1)ア・イ・ウ・エ・オ)(伝国(1)イ(イ))	交流させる。 読みたい本や作家を挙げ、今後の読書生活について考えさせる。 読書生活を振り返り、本の選び方や読み方について考えさせる。	読	広げたりしようとしている。 表現や場面・人物設定などに着目して読み、自分のものの見方や考え方を広げるとともに、読書生活について考えている。 難しい語句や表現について理解しながら読んでいます。		
	デザイナーと文字 1 時間	デザイナーの文字に対する考えを知り、効果的な文字の使い方について理解することができる。	「デザイナーと文字」を読んで、デザイナーの文字に対する考えを知り、効果的な文字の使い方について理解する。	関	デザイナーの文字に対する考えについて、関心をもって読もうとしている。 デザイナーの文字に対する考えを知り、効果的な文字の使い方について理解している。	授業観察	
	挨拶 2 時間	比喩や象徴的な表現に着目し、作者のものの見方や考え方を捉える。(読(1)ア・ウ)	表現の特色に注意して読み、作者の考え方について自分の意見をもつ。	関 読	詩を読み、作者のものの見方や考え方について自分なりに考えようとしている。 表現や語句の効果に着目し、作者の思いについて、現実の世界の在り方と対応させながら自分の言葉で説明している。 語感を磨き語彙を豊かにしている。	授業観察 ノート ワーク 定期考査	
8 9	読書紹介スピーチをする 3 時間	本の良さについて紹介をする。(話聞(2)ア)	課題に沿って本を読み、伝えたい内容に合わせて引用して紹介させる。	関 話	題材を適切に選択し、わかりやすく伝えようとしている。 本の内容とおもしろさを	授業観察 発表	モチモチの木 (3 年)



	新聞の社説を比較して読もう 3時間	社説を読み、主張や論理の展開、表現のしかたを捉える。(読(1)イ) 一つの問題に関する複数の文章を読み比べ、主張や構成について評価し、ものの見方や考え方を広げる。(読(1)ウ) 構成や論理の展開を工夫し、資料を適切に引用して意見を主張する文章を書く。(書(1)ア・イ)	二つの社説を読み比べて、内容や表現を整理し、主張や論理の展開のしかたを評価させる。 論理の展開を工夫して意見文を書かせる。	関 読 書 言	ている。 二つの社説を読み、主張や論理の展開の違いに目を向けようとしている。構成や展開、表現のしかたなど観点に沿ってまとめている。 内容の違いを読み比べ、主張や構成について評価し、自らのものの見方や考え方を広げている。 社説をもとにテーマを決め、構成や引用する資料を工夫して意見文を書いている。 新聞で用いられる言葉の特徴を捉えている	授業観察 ノート 作文 定期考査	新聞を読もう (5年)
	慣用句・ことわざ・故事成語 1時間	慣用句・ことわざ・故事成語などの知識を広げる。(伝国(1)イ(1))	教材文を読み、慣用句・ことわざ・故事成語を理解し、日常生活の場で使いこなせるようにさせる。	関 言	慣用句・ことわざ・故事成語について理解しようとしている。 慣用句・ことわざ・故事成語の意味を調べて、適切に使っている。	授業観察 ノート ワーク 定期考査	「ことわざブックを作ろう」「知ると楽しい『故事成語』」(4年)
	漢字の造語力 1時間	漢字の造語力について知り、語彙を豊かにし、文や文章の中で使うことができる。(伝国(1)ウ(7))	教材文を読み、漢字の造語力について理解させる。 練習問題に取り組み、理解の程度を確かめさせる。	関 言	漢字を組み合わせることができる造語に興味をもとうとしている。 漢字の造語力について理解している。	授業観察 ノート ワーク	
	音読を楽しもう 古今和歌集 仮名序 1時間	比喩表現などの表現上の工夫に注意しながら「古今和歌集 仮名序」の冒頭部分部分を音読し、古典の世界に親しむ (読(1)ア)(伝国(1)ア)	歴史的仮名遣いに注意し、音読を通して、古文の言葉の響きやリズムを味わわせる。	関 読	「仮名序」冒頭部分の内容に興味をもちすすんで音読しようとしている。 古人が「和歌」をどのようなものとして捉えていたかを理解している。	授業観察 ノート ワーク 暗唱 定期考査	声に出して楽しもう (3. 4年)



	<p>君待つと 一万葉・古今・ 新古今 2時間 読</p>	<p>(ア) 歴史的な背景に注意して 古典の和歌を読み、昔の 人の心情や情景を読み味 わうとともに、和歌に歌 われている人間や自然な どについて、自分の考え をもつ。(読(1)工)(伝国 (1)ア(ア)) 語句の効果的な使い方や 表現の工夫に注意しなが ら、それぞれの和歌を読 み味わう。(読(1)ア・ウ)</p>	<p>現代語訳を参考に、「和歌」 にはどのような力があると 考えられていたかを理解さ せる。 作者の心情や情景を読み取 らせる。 和歌の効果的な表現や語句 の使い方を捉えさせる。</p>	<p>言 関 読 言</p>	<p>古文のリズムを意識しな がら音読している。 それぞれの和歌集に興味 をもち、和歌に表れた古 人の心情や情景に現代語 訳を基に想像しようとし ている。 和歌の表現技法や語句の 使い方に気付いて読み、 感想をもっている。 現代語訳を基に和歌を読 んでいる。</p>	<p>授業観察 ノート ワーク 定期考査</p>	
	<p>夏草一「おくの ほそ道」から 4時間</p>	<p>歴史的背景を想像しな がら「おくのほそ道」を 読み、作者のものの見方 や感じ方を読み取り、自 分の考えをもつ。(読(1) 工)(伝国(1)ア(ア)) 語句の効果的な使い方 や表現の仕方、文体の 特徴に注意して読み味 わい、古典に親しむ。 (読(1)ア・ウ)</p>	<p>歴史的背景などを想像し、 作者のものの見方や感じ 方を読み取せる。 作品を表見の仕方や文体 の特徴に注意して読み味 わわせる。</p>	<p>関 読 言</p>	<p>俳句に込められた芭蕉の 思いを考えようとして いる。 作品の表現や文体の特徴 に注意しながら読んでい る。 歴史的背景を踏まえなが ら作品に親しみ、芭蕉の ものの見方について考え ている。 歴史的背景を踏まえなが ら作品を読んだり、古典 の一節を引用した文章を 書いたりして、古典の世 界に親しんでいる。</p>	<p>授業観察 ノート ワーク 暗唱 定期考査</p>	<p>声に出して楽しもう (松尾芭蕉) (4年)</p>
	<p>古典を心の中に 1時間</p>	<p>古典作品について書か れた文章を読み、古典 の世界に親しむ。(読 (1)才)(伝国(1)ア(ア))</p>	<p>古典作品について書かれた 文章を読み、心の中に古典 をもつことによって、世界 を深く広く見られることを 理解させる。</p>	<p>関 読 言</p>	<p>古典のさまざまな作品に 関心をもとうとしてい る。 古典には人の姿やさまざ まな世界が描かれている ことを理解している。 古典の知識に触れ、その</p>	<p>授業観察 ノート</p>	

1 1	作られた「物語」を超えて 4時間	筆者の考えを表す語句や論理の展開に着目して主張を捉え、表現のしかたについて評価する。(読(1)ア・イ・ウ) 筆者のものの見方や考え方を踏まえて、人間、社会、自然などについて自分の考えをもつ。(読(1)エ)	筆者の挙げた事例の意図を考えさせる。 論理の展開に注意し、筆者の主張を要約させる。 要旨に対する自分の考えをもたせる。	関 読  言	世界に親しんでいる。  教材文に興味をもち、自分の考えを広げようとしている。 語句や論理の展開、表現のしかたなどについて自分なりに評価している。 読み取ったことを踏まえ、これからの「新しい世界」について自分の考えをもっている。 比喩的に用いられている言葉の意味に気づいている。	授業観察 ノート ワーク 定期考査	学級討論をしよう (6年)
	話し合いを効果的に進める 1時間	話し合いが効果的に展開するように進行のしかたを工夫する。(話聞(1)エ)	それぞれの意見の共通点と相違点を確認し、論点を整理させる。 話し合いの目的や方向性を踏まえて、話し合いの展望をもたせる。	関 話  言	話し合いの進め方などについて考えようとしている。 話し合いが効果的に展開するように、論点を整理するなどして進行を工夫している。 話し合いに適した言葉遣いを意識して発言している。	授業観察 ノート	
	課題解決に向けて話し合おう 社会への提案をまとめる 5時間	社会生活の中から話題を決め、説得力のある話をし、聞き取った内容や表現の仕方を評価して、自分のものの見方や考え方を深めたり、表現に生かしたりする。(話聞(1)ア・ウ) 話し合いが効果的に展開するように進行の仕方や言葉遣いを工夫	注意して話し合いの進行をさせる。 社会生活の中の話題について、相手を説得するために意見を述べ、提案をすすせる。	関 話  言	自分を取り組みたい課題を考えようとしている。 社会生活の中から話題を決めて資料などを活用して話し、聞き取ったことから、自分のものの見方や考え方を深めている。 課題解決に向けて、互いの考えを生かし合っている。 話し合いという場を意識	授業観察 発表	

1 2	観点を立てて分析する 1 時間	し、課題の解決に向けて互いの考えを生かし合う。(話聞(1)エ)(伝国(1)イ(ア))  社会生活の中から課題を決め、観点を立てて分析し考えを深める。(書(1)ア)	挙げられている例を評価する場合の観点を考えさせる。	関 書 言	し、適切な言葉遣いをしている。  進んで課題に取り組み、観点を立てて分析しようとしている。 挙げられた例を観点を立てて分析することで、課題について論じたり評価したりしている。 批評するときの言葉を使っている。	授業観察 ワークシート	
	説得力のある文章を書こう 批評文を書く 5 時間	社会生活の中から関心のある事柄を決め、観点を立てて分析し、考えを深める。(書(1)ア) 論理の展開や表現のしかたを工夫し、説得力のある文章を書き、書いた文章を読み合ってももの見方を深める。(書(1)イ・エ)	批評文に必要な要素や書きかを理解させる。 社会生活の中から関心のあることを選び、文章構成や資料の引用箇所を工夫して、批評文を書かせる。	関 書 言	社会生活の中の事柄について、自分の意見を明確にして批評文を書こうとしている。 分析のための観点を示し、判断や批評の根拠を明確にし、資料を適切に引用して、説得力のある構成で批評文を書いている。 友達の書いた批評文から参考になる部分や表現を指摘し、自分の表現に役立てている。 自分の意見を効果的に表現するために、批評するときの言葉を適切に使い分けている。	授業観察 作文	この絵、わたしはこう見る (6 年)
	初恋 1 時間	詩における語句の効果的な使い方や表現の工夫に注意して読み、人間・社会・自然などに	言葉の響きやリズムを味わいながら朗読させる。 語句や表現に込められた意味を読み取り、自分の意見	関 読	進んで朗読し、詩の世界を味わおうとしている。 表現や語句の効果に着目し、作者の思いについて、	授業観察 ノート ワーク 定期考査	詩を楽しもう (5 年)



		工夫に注意して論理の展開のしかたを捉え、内容の理解に役立てる。(読(1)ア・イ)			分の意見をもっている。抽象的な語句や論理の展開のしかたを捉え、内容を理解している。文章中の抽象的な語句に興味をもち、意味や類義語などを調べている		
	わたしを束ねないで 1 時間	詩における語句の効果的な使い方や表現の工夫に注意して読み、人間・社会・自然などについて考え、自分の意見をもつ。 (読(1) ア・ウ・エ) (伝国(1)イ(1))	詩における語句の効果的な使い方や表現の工夫に注意して読み、人間・社会・自然などについて考え、自分の意見をもたせる。	関 読 言	表現の特徴や作者の思いを捉え、自分の考えをもとうとしている。詩における語句の効果的な使い方や表現の工夫に注意して読み、人間・社会・自然などについて考えて、自分の意見をもっている。語感を磨き語彙を豊かにしている。	授業観察 ノート ワーク 定期考査	
	長文読解 2 時間	文脈における語句の効果的な使い方や表現の工夫に注意して論理の展開のしかたを捉え、内容の理解に役立てる。表現や場面、登場人物の設定に着目して、内容を読み深める。 (読(1)ア・イ・ウ)	3 年間の長文読解のまとめとして問題に取り組ませる。	関 読 言	問題に取り組み理解を深めようとしている。文学的文章や説明的文章の読解ができている。多様な語句について理解を深めるとともに、文章の中の語彙について理解している。	授業観察 問題プリント	
2	漢字のまとめ 1 時間	2 年生までに学習した漢字に加え、その他の常用漢字の だいたいを読み、適切に使い慣れる。(伝国(1)ウ(7))	2 年生までに学習した漢字に加え、その他の常用漢字の だいたいを読み、適切に使い慣れさせる。	関 言	問題に取り組み、漢字への理解を深めようとしている。漢字の意味や読み方を確かめながら問題に取り組み、おおむね理解している。	授業観察 ノート	

3	<p>三年間の歩みを振り返ろう 学びについて語り合う 5時間</p>	<p>三年間の学びを振り返りながら自分の考えを深め、構成を工夫してまとめる。(書(1)ア・イ・エ) 自分の経験や知識を整理して話し、発表内容や書いた作品を評価し合っもの見方や考え方を深める。(話聞(1)ア・ウ)</p>	<p>三年間の学びを生かして、三年間の思い出をまとめて発表させる。</p>	<p>関 書 話 関 言</p>	<p>中学校三年間の学習を振り返り、自分の学びを冊子にまとめようとしている。 三年間の国語の学習から取材して伝えたいことを決め、冊子の構成を工夫している。 冊子の内容を生かして発表し、評価し合っ自分の表現に役立てたり、もの見方や考え方を深めたりしている。 適切な言葉を選び、友達の作品を評価している。</p>	<p>授業観察 発表</p>	「かるた」 (3年)
	<p>小倉百人一首 2時間</p>	<p>競技カルタの方法を知り、和歌に親しむ。(伝国(1)ア)</p>	<p>有名な和歌や著名な歌人の歌に触れさせ、日本の文化に親しませる。</p>	<p>関 言</p>	<p>和歌に親しみ競技力を高めようとしている。 和歌のリズムを味わいながら内容を楽しんでいる。</p>	<p>授業観察</p>	